



ヒーローショーに大勢の人が



サツマイモが出てきたよ

## 大栄ふるさとふれあいまつり・日本一のいも掘り広場 11/23 二つの会場が大にぎわい

大栄地区の秋の恒例行事「大栄ふるさとふれあいまつり」が日本自動車大学校を会場に開催されました。会場には各種模擬店が立ち並び、メインステージではヒーローショーや大栄中学校吹奏楽部の演奏などが行われました。また、

同日はサツマイモや野菜を収穫する「日本一のいも掘り広場」も行われ、会場となった大栄B&G海洋センター近くの畑に多くの人が訪れました。参加した子どもは「家に帰ったら焼き芋にして食べよう」とうれしそうに話していました。



表彰状を手にする青木さん

## 千葉県功労者表彰 青木偉年さんが受賞

成田市社会福祉協議会会長の青木<sup>ひでとし</sup>偉年さん(玉造)が、「文化の日千葉県功労者表彰・健康福祉功労」を受賞しました。青木さんは、平成21年から社会福祉協議会会長を務め、地域福祉、在宅福祉の発展に尽力してきました。また、関係団体の役員や構成員としての経験を生かし、地域の連携・協働に向けた取り組みを行い、社会福祉協議会の発展に多大な貢献をしてきました。

11/19・20

### 産業まつり

## 成田が誇る「技」と「味」を堪能

市内の商工業・農業などをより多くの人に知ってもらおうと、「産業まつり」が2日間にわたり国際文化会館で開催されました。訪れた人たちは、市内の製造業者などが作業に使用する道具を実際に体験したり、農家の人が育てた自慢の農産物に熱心に見入ったりしていました。また、建物の外に軒を連ねた数も種類も豊富な食べ物の模擬店で提供される料理に、たくさんの人が舌鼓を打っていました。



見事な出来栄えに感心



レース後半に待ち受ける登り坂

### 小中学校ロードレース大会

## 各校の代表選手が力走

11/16

市内の各小中学校の代表選手が出場して、「小中学校ロードレース大会」が中台運動公園陸上競技場をスタート・ゴール地点として開催されました。レースは小学5年生・6年生・中学生それぞれの男女ごとに行われ、合わせて542人が参加しました。選手たちは、競技場のスタンドや沿道からの声援を受けて力走。6レース中、2レースで大会記録が更新されました。

### 木まち

## 身上の安全を祈って

11/18

毎年11月の観音様の縁日に行われる祭り「木まち」。今年も華やかな衣装を身にまとった稚児の行列が龍正院(滑河観音)の境内を練り歩き、本堂では所願成就や家内安全などの大護摩修行が行われました。紅葉が色づいた境内では、植木市も開催。露店も立ち並び、多くの家族連れでにぎわっていました。



本堂に向かう行列



仲間の一投に注目(ユニカール)

### 高齢者クラブ連合会軽スポーツ大会

## 競技をしながら楽しく交流

11/22

簡単にできるスポーツを通して高齢者同士に親睦を図ってもらおうと、「高齢者クラブ連合会軽スポーツ大会」が市体育館で行われました。58チーム407人の参加者の平均年齢はおよそ75歳。輪投げ、ユニカール、マグネットダーツなど6種類の競技に取り組みました。チームの垣根を超えて声を掛け合ったり、拍手をしたりして、笑顔で交流を深めていました。

### 野球教室

## 往年の名選手たちが指導

11/26・27

元プロ野球選手による「野球教室」がナスパ・スタジアムで開かれました。これは、昨年本市で開催された「世界少年野球大会千葉大会」のフォローアップ事業として行われたもの。篠塚和典さん、川口和久さん、緒方耕一さん、里崎智也さんの4人が講師を務めました。かつての名選手から指導を受けられるとあって、参加者は走塁・守備・打撃の練習に生き生きとした表情で取り組んでいました。



里崎さんの指導を受け打撃を磨く